

## 2021年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2021年5月11日

上場会社名 株式会社 ロブテックス  
 コード番号 5969 URL <https://www.lobtex.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 地引 俊為

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 管理本部長 (氏名) 山口 正光

TEL 072-980-1110

定時株主総会開催予定日 2021年6月23日

配当支払開始予定日

2021年6月24日

有価証券報告書提出予定日 2021年6月24日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期の連結業績(2020年4月1日～2021年3月31日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	5,307	6.5	263	10.9	300	57.5	186	296.1
2020年3月期	5,673	6.9	237	45.9	190	52.0	46	80.8

(注) 包括利益 2021年3月期 276百万円 ( %) 2020年3月期 9百万円 ( %)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年3月期	199.20		4.6	3.7	5.0
2020年3月期	50.30		1.2	2.4	4.2

(参考) 持分法投資損益 2021年3月期 百万円 2020年3月期 百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	8,336	4,313	49.3	4,397.20
2020年3月期	8,007	4,116	49.0	4,197.09

(参考) 自己資本 2021年3月期 4,106百万円 2020年3月期 3,919百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年3月期	537	51	33	2,193
2020年3月期	381	486	244	1,674

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額(合計)	配当性向(連結)	純資産配当率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年3月期		0.00		70.00	70.00	65	139.2	1.6
2021年3月期		0.00		50.00	50.00	46	25.1	1.2
2022年3月期(予想)		0.00		50.00	50.00		35.9	

### 3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,480	3.3	260	1.4	220	26.8	130	30.1	139.20

注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
 以外の会計方針の変更 : 無  
 会計上の見積りの変更 : 無  
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期	1,000,000 株	2020年3月期	1,000,000 株
期末自己株式数	2021年3月期	66,107 株	2020年3月期	66,107 株
期中平均株式数	2021年3月期	933,893 株	2020年3月期	933,920 株

(参考)個別業績の概要

2021年3月期の個別業績(2020年4月1日～2021年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	3,663	9.6	27	57.6	179	55.3	141	309.2
2020年3月期	4,050	8.3	17	90.5	115	58.1	34	82.6

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期	151.90	
2020年3月期	37.12	

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
2021年3月期	7,098		3,550		50.0		3,801.93	
2020年3月期	6,734		3,409		50.6		3,650.81	

(参考) 自己資本 2021年3月期 3,550百万円 2020年3月期 3,409百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1.経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	3
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 連結貸借対照表 .....	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	6
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(セグメント情報等) .....	10
(1株当たり情報) .....	11
(重要な後発事象) .....	11

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度のわが国経済は、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大の影響を受け、社会経済活動が停滞し、極めて厳しい状況となりました。また、景気の先行きについても、各種政策が施行されておりますものの、感染の収束時期が見込めず、不透明な状況が継続しています。

このような状況の下、当社グループでは昨年度より掲げております経営ビジョン「モノづくりのプロに答え、モノづくりの愉しさを育む」、経営スローガン「私たちは工具を通じ、あらゆるモノづくりの要求に応えるとともに、つくる愉しさを伝え広げる事で社会に貢献します」の浸透と発信を更に進め、経営目標達成に向け努力してまいりました。そして、コーポレートカルチャーの醸成と経営ビジョンの推進を図り、また、如何なる波にも耐え得る力をつけるため、新たに2020年度経営課題として『業務の整流化を徹底し、利益体質の強化を図る』を定め、この課題解決に向けた機能的な組織体制とすべく、2020年4月に組織改革を実施しました。社長室には経営戦略実行の徹底・強化を図るために経営企画担当を設置し、マーケティング本部については「モノづくり事業本部」と改称し、傘下にある「商品部」はこれまでの商品企画部・購買部・特販部門を統合するなど“モノづくり”を一気通貫で推し進めるための組織づくりを実施しました。また、国内・海外の営業をそれぞれの戦略に則り徹底的に進めていくために営業部傘下の海外営業グループを独立させ、「国内営業部」と「海外営業部」を設置しました。また、具体的な課題解決を図るべく各種プロジェクトを立ち上げ、その推進をしてまいりました。

しかしながら、新型コロナウイルス感染拡大による社会経済活動停滞影響を受け、売上高は前年同期比6.5%減の53億7百万円（前年同期56億7千3百万円）となりました。利益面では減収影響や景況に応じた計画的な休業実施影響はありましたものの、役員報酬減額をはじめとする人件費や経費の節減を実施し、営業利益で同10.9%増の2億6千3百万円（同2億3千7百万円）となり、経常利益では雇用調整助成金等の営業外収益の計上もあって同57.5%増の3億円（同1億9千万円）、親会社株主に帰属する当期純利益では前年発生土地・建物に関する減損損失影響がなくなり、同296.1%増の1億8千6百万円（同4千6百万円）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### ①金属製品事業

超高速リベティングと軽量ボディを実現させた新型コードレスリベッター「R2B1」や軸の強いソケット「ストロック」などの新商品投入やブラインドリベットのラインアップ拡充、その他拡販努力による一部の商品や地域について増加がありましたものの、国内、海外売上ともに、新型コロナウイルス感染拡大による社会経済活動の停滞や営業活動に制限を受けたことを要因として減少しました。

その結果、金属製品事業の合計売上高は前年同期比7.3%減の50億4千3百万円（前年同期54億4千3百万円）となりました。利益面では売上減少に対応した経費節減等を行いました。減収影響が大きく、セグメント利益は前年同期比12.4%減の1億2千万円（前年同期1億3千7百万円）となりました。

#### ②レジャー事業

ゴルフ練習場における入場者数及びお客様一人当たり売上高は、期初において新型コロナウイルス感染対策として打ち出された外出自粛要請を受けた入場制限や時短営業実施の影響がありましたものの、感染対策を講じた上で営業を継続したことに加え、前年度までに実施してまいりましたサービス向上や集客施策の奏功もあり、前年同期に比べ増加し、売上高は前年同期比14.5%増の2億6千3百万円（前年同期2億3千万円）となりました。セグメント利益は増収や設備関連費用の減少により、同43.1%増の1億4千2百万円（同9千9百万円）となりました。

### (2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末における総資産は83億3千6百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億2千9百万円増加しました。

#### (資産)

流動資産は前連結会計年度末比4億8百万円増の55億6千4百万円となりました。これは主にたな卸資産の減少がありましたものの、現金及び預金や受取手形及び売掛金が増加したことによるものです。

固定資産は同7千8百万円減の27億7千1百万円となりました。これは主に投資有価証券の時価評価に伴う増加はありましたが、減価償却による有形固定資産の減少があったことによるものです。

## (負債)

流動負債は前連結会計年度末比5千2百万円増の25億1千5百万円となりました。これは主に買掛金の減少がありましたものの、短期借入金や未払法人税等が増加したことによるものです。

固定負債は同7千9百万円増の15億7百万円となりました。これは主に社債やリース債務の減少はありましたが、長期借入金の増加があったことによるものです。

## (純資産)

純資産は前連結会計年度末比1億9千6百万円増の43億1千3百万円となりました。これは主に親会社株主に帰属する当期純利益計上による利益剰余金の増加及び投資有価証券の時価評価に伴うその他有価証券評価差額金の増加があったことによるものです。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の期末残高は、前連結会計年度末に比べ5億1千8百万円増加(前年同期3億4千9百万円減少)し、21億9千3百万円となりました。

当連結会計年度におけるキャッシュ・フローの区分別の概要は次のとおりであります。

## ＜営業活動によるキャッシュ・フロー＞

売上債権の増加や仕入債務の減少がありましたが、税金等調整当期純利益や減価償却費の計上、たな卸資産の減少などにより、資金が5億3千7百万円増加(前年同期3億8千1百万円増加)しました。

## ＜投資活動によるキャッシュ・フロー＞

有形固定資産の取得を主因に、資金が5千1百万円減少(前年同期4億8千6百万円減少)しました。

## ＜財務活動によるキャッシュ・フロー＞

リース債務の返済や配当金の支払などがありましたが、借入金収入により資金が3千3百万円増加(前年同期2億4千4百万円減少)しました。

## (4) 今後の見通し

今後の経済情勢につきましては、政府の新型コロナウイルス感染症への各種政策により持ち直しの動きが期待されるものの、感染症拡大の懸念は依然として続いており、その先行きは非常に不透明な状況となっています。

このような見通しの中、当社グループでは経営ビジョン「モノづくりのプロにこころをこめ、モノづくりの楽しさを育む」、経営スローガン「私たちは工具を通じ、あらゆるモノづくりの要求に応え、つくる楽しさを伝え広げる事で社会に貢献します」の浸透と発信を更に進め、経営課題である「業務の整流化を徹底し、利益体質の強化を図る」を追求し、経営目標達成に向け努力してまいり所存であります。

なお、経営ビジョンを推し進めるにあたり、経営課題の解決に向けた機能的な組織への変更を2021年5月に実施しました。従来の社長室を「経営統括室」と改称し、経営ビジョンの明確化・浸透、企業の風土改革とコーポレートカルチャーの醸成、ブランディング戦略の実践機能に加え、経営企画と統括機能を持たせ、経営課題の明確化と解決の徹底を図ることとしました。具体的な課題解決にあたっては各種プロジェクトを、風土改革については各種委員会活動の充実により推進してまいります。モノづくり事業本部においては、本部内連携強化のため、技術並びにマーケティングのそれぞれを所轄する副本部長を配置し、より機能的な活動を実践するため、従来の国内営業部・海外営業部を「第一営業部(機工・金物ルート)」、「第二営業部(ホームセンター・海外営業ルート)」、「営業企画部(eビジネス・企画販売促進)」に再編しました。管理本部には、全社の業務全般を担当する「業務部」を新たに設置しました。また、製造部門との柔軟な人的運用や配送業務の効率化等を目的として、リベット物流部門を2021年2月に、メンテナンスセンター・パーツセンターを2021年5月に鳥取ロプスターツール株式会社に移転し、物流業務の一元化を図りました。

次期の見通しといたしましては、連結売上高で54億8千万円、連結営業利益で2億6千万円、連結経常利益で2億2千万円、親会社株主に帰属する当期純利益で1億3千万円を見込んでおります。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、日本基準により作成する財務諸表が当社グループの経営成績、財政状態及びキャッシュ・フローの状況を示す上で適切であると判断しております。

また、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、IFRSの適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,000,937	2,519,662
受取手形及び売掛金	1,166,296	1,220,318
電子記録債権	152,302	204,418
商品及び製品	1,235,589	1,052,860
仕掛品	314,563	317,169
原材料及び貯蔵品	220,086	208,954
その他	72,388	47,795
貸倒引当金	△5,514	△6,333
流動資産合計	5,156,650	5,564,845
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	949,947	893,697
機械装置及び運搬具(純額)	92,100	80,929
工具、器具及び備品(純額)	67,273	50,211
土地	673,026	673,026
リース資産(純額)	355,538	315,596
建設仮勘定	14,669	2,879
有形固定資産合計	2,152,557	2,016,340
無形固定資産		
リース資産	33,851	31,237
その他	22,049	14,481
無形固定資産合計	55,901	45,719
投資その他の資産		
投資有価証券	429,175	531,512
退職給付に係る資産	80,595	84,169
繰延税金資産	108,771	73,482
その他	30,464	27,129
貸倒引当金	△6,947	△6,825
投資その他の資産合計	642,059	709,469
固定資産合計	2,850,518	2,771,528
資産合計	8,007,169	8,336,374

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	298,788	248,000
短期借入金	1,604,670	1,677,576
1年内償還予定の社債	60,000	60,000
リース債務	86,631	76,792
未払法人税等	36,139	56,302
その他	376,010	396,549
流動負債合計	2,462,240	2,515,221
固定負債		
社債	90,000	30,000
長期借入金	1,027,440	1,216,042
リース債務	237,173	185,271
退職給付に係る負債	72,699	75,689
その他	780	480
固定負債合計	1,428,093	1,507,482
負債合計	3,890,333	4,022,704
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	960,000	960,000
資本剰余金	491,045	491,045
利益剰余金	2,486,445	2,607,106
自己株式	△164,084	△164,084
株主資本合計	3,773,406	3,894,068
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	146,227	212,442
その他の包括利益累計額合計	146,227	212,442
非支配株主持分	197,201	207,159
純資産合計	4,116,835	4,313,669
負債純資産合計	8,007,169	8,336,374

## (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

## 連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
売上高	5,673,496	5,307,011
売上原価	3,682,896	3,519,105
売上総利益	1,990,600	1,787,906
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	613,731	612,924
退職給付費用	13,107	10,819
減価償却費	96,351	69,555
その他	1,029,625	830,854
販売費及び一般管理費合計	1,752,815	1,524,154
営業利益	237,784	263,751
営業外収益		
受取利息	74	41
受取配当金	16,599	11,943
受取家賃	8,655	4,062
助成金収入	—	81,982
その他	7,782	7,870
営業外収益合計	33,111	105,901
営業外費用		
支払利息	30,086	27,496
売上割引	44,228	39,804
その他	5,745	1,814
営業外費用合計	80,060	69,115
経常利益	190,835	300,537
特別利益		
関係会社株式売却益	19,000	—
特別利益合計	19,000	—
特別損失		
減損損失	68,832	—
特別損失合計	68,832	—
税金等調整前当期純利益	141,002	300,537
法人税、住民税及び事業税	74,787	85,883
法人税等調整額	△2,014	5,507
法人税等合計	72,772	91,390
当期純利益	68,230	209,147
非支配株主に帰属する当期純利益	21,258	23,112
親会社株主に帰属する当期純利益	46,971	186,034

## 連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
当期純利益	68,230	209,147
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△77,981	67,059
その他の包括利益合計	△77,981	67,059
包括利益	△9,751	276,206
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△29,114	252,248
非支配株主に係る包括利益	19,362	23,958

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本					その他の包括利益累計額		非支配株主 持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価 証券 評価差額金	その他の包 括利益 累計額合計		
当期首残高	960,000	491,045	2,504,848	△164,014	3,791,879	222,313	222,313	191,838	4,206,031
当期変動額									
剰余金の配当			△65,374		△65,374				△65,374
親会社株主に帰属する 当期純利益			46,971		46,971				46,971
自己株式の取得				△70	△70				△70
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)						△76,085	△76,085	5,362	△70,723
当期変動額合計	—	—	△18,403	△70	△18,473	△76,085	△76,085	5,362	△89,196
当期末残高	960,000	491,045	2,486,445	△164,084	3,773,406	146,227	146,227	197,201	4,116,835

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本					その他の包括利益累計額		非支配株主 持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価 証券 評価差額金	その他の包 括利益 累計額合計		
当期首残高	960,000	491,045	2,486,445	△164,084	3,773,406	146,227	146,227	197,201	4,116,835
当期変動額									
剰余金の配当			△65,372		△65,372				△65,372
親会社株主に帰属する 当期純利益			186,034		186,034				186,034
自己株式の取得					—				—
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)						66,214	66,214	9,958	76,172
当期変動額合計	—	—	120,661	—	120,661	66,214	66,214	9,958	196,834
当期末残高	960,000	491,045	2,607,106	△164,084	3,894,068	212,442	212,442	207,159	4,313,669

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	141,002	300,537
減価償却費	223,724	205,003
減損損失	68,832	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△261	696
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	7,651	2,989
受取利息及び受取配当金	△16,674	△11,985
支払利息	30,086	27,496
助成金収入	—	△81,982
為替差損益 (△は益)	288	915
売上債権の増減額 (△は増加)	213,017	△106,137
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△228,683	191,255
仕入債務の増減額 (△は減少)	69,235	△50,788
関係会社株式売却損益 (△は益)	△19,000	—
その他の資産の増減額 (△は増加)	28,742	23,380
その他の負債の増減額 (△は減少)	△46,065	31,055
小計	471,898	532,438
利息及び配当金の受取額	16,677	11,986
利息の支払額	△31,757	△28,003
助成金の受取額	—	74,471
法人税等の支払額	△76,849	△64,291
法人税等の還付額	1,594	10,443
営業活動によるキャッシュ・フロー	381,563	537,044
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△553,200	△553,200
定期預金の払戻による収入	276,600	553,200
有形固定資産の取得による支出	△228,338	△49,043
無形固定資産の取得による支出	△9,941	—
無形固定資産の売却による収入	—	3,000
投資有価証券の取得による支出	△7,331	△5,495
関係会社株式の売却による収入	35,000	—
その他	1,020	495
投資活動によるキャッシュ・フロー	△486,191	△51,044
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△6,668	△60,000
長期借入れによる収入	550,000	1,000,000
長期借入金の返済による支出	△516,096	△678,492
社債の償還による支出	△60,000	△60,000
リース債務の返済による支出	△132,127	△88,495
自己株式の取得による支出	△70	—
配当金の支払額	△65,374	△65,372
非支配株主への配当金の支払額	△14,000	△14,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	△244,335	33,640
現金及び現金同等物に係る換算差額	△288	△915
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△349,253	518,724
現金及び現金同等物の期首残高	2,023,590	1,674,337
現金及び現金同等物の期末残高	1,674,337	2,193,062

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## 1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務諸表が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

「金属製品事業」は、作業工具・ファスニングツール・工業用ファスナー・電設工具・切削工具等の製造販売をしております。「レジャー事業」は、ゴルフ練習場の運営をしております。

## 2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成において採用している会計処理の方法と概ね同一であります。

また、セグメント利益は、営業利益ベースの数値であり、連結損益計算書の営業利益との間に差異はありません。

## 3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計	連結財務諸表 計上額
	金属製品事業	レジャー事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	5,443,091	230,405	5,673,496	—	5,673,496	5,673,496
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	5,443,091	230,405	5,673,496	—	5,673,496	5,673,496
セグメント利益	137,940	99,844	237,784	—	237,784	237,784

(注) 当社には、報告セグメントに含まれない事業セグメントはありません。

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計	連結財務諸表 計上額
	金属製品事業	レジャー事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	5,043,258	263,753	5,307,011	—	5,307,011	5,307,011
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	5,043,258	263,753	5,307,011	—	5,307,011	5,307,011
セグメント利益	120,902	142,848	263,751	—	263,751	263,751

(注) 当社には、報告セグメントに含まれない事業セグメントはありません。

## (1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり純資産額	4,197.09円	4,397.20円
1株当たり当期純利益	50.30円	199.20円

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 1株当たり当期純利益金の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	46,971	186,034
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	46,971	186,034
普通株式の期中平均株式数(千株)	933	933

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。